## 平成 24 年度実施 新規事務事業マネジメントシート 作成日: 平成 24 年 7 月 23 日

事務事業名			ζ	町税収納対策事業						事後(中間)評価対象事業								
4	公					自動電話催告導入事業)							1	山川山八水子)	···	d= 4.1	l. let yle	
í	<u> </u>			<b>6名</b> 効率的な行財政運営によるまちづくり 0:5:								所属課	税務課		担当		<b>为担当</b>	
	<u> </u>	施策		名								課長名	斎藤善	煇 —————	担当者名	星育	f男 ————————————————————————————————————	
	予	予算科目			会計 2	<u>款</u>	項 0 1	目 0 1	事業 0 1		業コート 管理費委		】関係法令· 条例等	地方税	法			
	事	事業期間							25 年度)	<u>#</u>	<b>明間限定(</b>	年度~	,	年度)				
1 事務事業概要 町税の収納率の向上のために、納め忘れの滞納税を自動電話催告でお知らせするものである。今回は 忘れがちな国民健康保険税に的を絞り、第3期、6期、8期の納期後、督促状を発布しても納付がない滞納者 国保税の収納率アップを図るものである。昨年度国保連の補助事業で取り組んだ実績からかなりの成果が る。 2 業務 現年度(H24年度)のみの国保滞納者に対して自動電話催告を行なう。昨年度実績及び業務の特殊性が 保連の補助事業時に委託した株式会社ジー・エフに業務を委託したいと考えている。(昨年度使用した音声 使用できるためコストダウンになる見込み) 3 概算事業費 1)直接委託費 架電打合せ費 50,000円 電話番号維持費(5ケ月分)60,000円 結果集計・作業費(6日間)60,000円 2)自動架電他経費 自動架電 600件×40円/1件= 24,000円 総合計(消費税含む)203,870円											者に対 あると から、	対して実施し、 ご見込んでい 昨年度の国						
(1) 事務事業の目的と指標 (1) 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等) ・架電対象者の抽出 ・電話番号の調査 ・委託業者との契約 (2) 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載) ・現年度の国保税滞納者 ・現年度の国保税滞納者 (5) 対象指標(対象の大きさを表す指標) をお称 ア、深電する国保税滞納者(延べ人奏 イ (6) 成果指標(対象によける意図の達成度を表す。 ・納税をしてもらう									指標) (延べ人数) 達成度を表す指標)		単位 世帯 件 単位 人 単位 年							
• <b></b>	<b>小</b> 男	]门祝(	וכט	<b>仪</b> 納	率アッ	<i>י</i> י							<b>→</b> ど覧	記話催音を 対前年度に	検納付した件 可期比の収納	級 率(現年度の₽	<del>(</del> لح	14+ %
(2) 指標・総事業			業賃	賞の推 <u>移</u> 単位		平月	平成24年度		平成25年度 平原		成26年度	平成	27年度	平成28年度		平成32年度 総合計画		
																		- 早级年度
			<del>ر</del> ا		標値	世帯		5	,000		5,000		5,000		5,000	5,00	00	最終年度 5,000
泪	動	指標	7	実	績値	世帯世帯		5	,000 393 250		5,000 209 250		5,000 250		5,000 250		00 50	
活	動	指標	7	実見実		世帯 件 件		5	393		209			)		2.		5,000
		指標	アイア	実目実目実	積値 標値 標値 積値	世帯 件 件 人 人		5	393 250 100		209 250 30		250	)	250	2.	50	5,000 250
			アーイアーイ	実目実目実目実	績 <u>標績標績標</u> 績値値値値値値	世帯 件 人 人 0 0		5	393 250 100 600 615		209 250 30 600 319		250 600		250 600	29	50	5,000 250 600
交	象	指標	アーイアーイ	実目実目実目実目実	<u>績標績標績標績標績</u> 値値値値値値値値	世 件 件 人 0 0 件 件		5	393 250 100 600 615 400 202		209 250 30 600 319 400 85		250 600 400		250 600 400	2! 60	50	5,000 250 600 400
交	象		アーイアーイ	実目実目実目実目実	<u> </u>	世帯 件 人 人 0 0			393 250 100 600 615 400		209 250 30 600 319		250 600		250 600	2! 60	50	5,000 250 600
交	象	指標指標		実目実目実目実目実	績標 <u>績</u> 標績標績標績標値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値	世帯 件 人 人 0 0 件 %			393 250 100 600 615 400 202 105 0.88	平成25	209 250 30 600 319 400 85 105 101.14	<u> </u>	250 600 400		250 600 400	2! 60	50	5,000 250 600 400
文	大学 大学 一 事業	指標 指標 財源	具果	実目実目実目実目実 画支出方	續標 標 標 標 標 標 標 標 信 信 信 信 信 信 信 信 信 信 信 信 信	世 件 件 人 0 0 件 9 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千		10	393 250 100 600 615 400 202 105 0.88	平成25	209 250 30 600 319 400 85 105 101.14	<b>4</b>	250 600 400		250 600 400	24 60 40	50	5,000 250 600 400
文	大	指標期源內訳	国原	実目実目実目実目実目実 画支出方の販	續標績標績標績標績 出金 情値値値値値値値値値 金	世 件 件 人 0 0 件 % 千 千 千 千 千 千 千 千 千 7 千 7 千 7 7 7 7 7 7		10	393 250 100 600 615 400 202 105 0.88 度	平成25	209 250 30 600 319 400 85 105 101.14 年度	<u> </u>	250 600 400 110 成26年度	平成	250 600 400 110 27年度	25 60 40 1 平成28年度	000	5,000 250 600 400 115 平成32年度
文		指	国県世界一大	実目実目実目実目実画支出方の財子の	續標績標績標績標績標績 出金貴也源(A)極値値値値値値値値値値値値値値値	世 件 件 人 0 0 0 4 4 8 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		10	393 250 100 600 615 400 202 105 0.88 度	平成25	209 250 30 600 319 400 85 105 101.14 年度 210 210	<u> </u>	250 600 400 110 成26年度 227 227	平成	250 600 400 110 27年度 227 227	25 60 40 1 平成28年度 22 22	000	5,000 250 600 400 115 平成32年度 227 227
文	大学 大学 一 事業	指標 排源內訳 事 規	国県サンー養職で	実目実目実目実目実画支出方の財産務	續標績標績標績標績標績 出金貴也源(A)極値値値値値値値値値値値値値値値	世 件 人 0 0 件 件 % % 千 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円		10	393 250 100 600 615 400 202 105 0.88 度	平成25	209 250 30 600 319 400 85 105 101.14 年度	<b>T</b>	250 600 400 110 成26年度	平成	250 600 400 110 27年度	25 60 44 1 平成28年度	000	5,000 250 600 400 115 平成32年度
文		指標	国県サン一饗職が伴っ	実目実目実目実目実しました。般計道業費に	續標績標績標績標績標績 出金貴也源(A)對値値値値値値値値値値値値値 金金の数)数	世 件 件 人 0 0 4 4 8 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	平月	10000000000000000000000000000000000000	393 250 100 600 615 400 202 105 0.88 度 210 210 1 30 120 330		209 250 30 600 319 400 85 105 101.14 年度 210 210 20 80 290		250 600 400 110 402 402 227 227 10 40 267	平成	250 600 400 110 27年度 227 227 1 10 40 267	25 60 44 1 平成28年度 25 25	000 000 000 000 000 000 000 000 000 00	5,000 250 600 400 115 平成32年度 227 227 1 10 40 267
文		指標 財源内訳 事正 クート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	国県 サン一饗順 グ件コー 国	実目実目実目実目実画支出方の財計従務計は、績支	續標績標績標績標績標績 出金貴也源(A)     出値値値値値値値値値値値 金	世件件人人00件件%%	平月	10	393 250 100 600 615 400 202 105 0.88 度 210 210 1 30 120 330	平成25	209 250 30 600 319 400 85 105 101.14 年度 210 210 20 80 290		250 600 400 110 年成26年度 227 227 10 40	平成	250 600 400 110 27年度 227 227 227 1 10 40	25 60 44 1 平成28年度	000	5,000 250 600 400 115 平成32年度 227 227 227 10 40
		指 指 財源内訳 事正 タ 財源内訳 標 標	国県サーー養職が件コー国県サーー	実目実目実目実目実しました。般計で移計はは積支出方の段	續標績標績標績標績標績 出金貴也源(A) 特(B) 十一出金貴也源值值值值值值值值值值值值值值值值值值值值值值值值值值值值值值值值值值值值	世件件人人00件件%% 千千千千千人時千千 千千千千千千	平月	10000000000000000000000000000000000000	393 250 100 600 615 400 202 105 0.88 度 210 210 1 30 120 330 120 330		209 250 30 600 319 400 85 105 101.14 年度 210 210 20 80 290 年度		250 600 400 110 402 402 227 227 10 40 267 4026年度	平成	250 600 400 110 27年度 227 227 1 10 40 267	25 60 44 1 平成28年度 25 25	000	5,000 250 600 400 115 平成32年度 227 227 1 10 40 267
文		指 指 財源内訳 事正 夕 財源内訳 事正	国県は、一貫順等等の一国県は、一豊順等等の一国県は、一豊町	実目実目実目実目実しました。脱計にのでは、対して、関する。これでは、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して	績標績標績標績標績標績 出金貴也源(A) 開(B)   出金貴也源(A) 人間(B)   金金   上記   上記   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	世件件人人00件件%% 开开开开开大时干干 干干干干	平月	10000000000000000000000000000000000000	393 250 100 600 615 400 202 105 0.88 度 210 210 1 30 120 330		209 250 30 600 319 400 85 105 101.14 年度 210 210 1 20 80 290		250 600 400 110 402 402 227 227 10 40 267	平成	250 600 400 110 27年度 227 227 1 10 40 267	25 60 44 1 平成28年度 25 25	000	5,000 250 600 400 115 平成32年度 227 227 1 10 40 267

	評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果				
的妥	① 公共関与の妥当性なぜこの事業を町が行わなければな		☑ 適切	税の徴収は町の責務であり、効率良く徴収されている。	☑ 適切				
当性評価	らないのですか?税金を投入して、 達成するものですか?	税の徴収は町しか行なうことができず 公共が関与せざるを得ない。	見直し余地あり		□ 見直し 余地あり				
1/4	② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか?先延ばしにできない理由は何か?	以前より町民から税金の納め忘れを知らせてくれるとありがたいとの声があった。 行政側からすると、一度の納め忘れは大きな滞納につながることも目のあたりにしているので滞納予防策として滞納させないシステム作りが必要であると考える。	☑ 適切	未納の国保税以外の税の納付に もつながっており、滞納を未然に 防ぐという観点から有効的な手段と なっている。	☑ 適切 □ 見直し 余地あり				
効率性評価	③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか?将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか?	昨年度塩谷町で自動電話催告を実施した実績があり、導入に関しての初期導入費も削減できることから(株)TKCジー・エフより参考見積を徴して算出した。	✓ 適切 見直し 余地あり	平成23年度に国保連合会のモデル事業で行った業者から見積書を 徴して随意契約で行っている。	☑ 適切 □ 見直し 余地あり				
公平性評価		自主的に納付した納税者との受や負担を考えれば、滞納者の納税対策に 町が委託料を支払うという負担は公平 ではないかもしれないが、滞納の予防 対策としては有効であり公平公正な範疇であると判断する。		税は、公平に課税することだけで はなく、公平に徴収しなければなら ない。滞納整理の目的は、徴収面 からの税の負担の公平を確保する ことにある。	☑ 適切 □ 見直し 余地あり				
_	事前評価結果		事	前評価日: 平成 24年 7	月 27 日				
(1	)事前評価者として判断した今後 □ 1次案のまま採択		採択	□ 差し戻し					
	成24年度の第3期から実施すること		が成25年度末頃に	事業に関する指示、事後(中間)評価事後(中間)評価を実施する。					
F	<u>成果検証                                    </u>		争伐(中国	<u> 引)評価日: 平成 26年 7</u>	月 1日				
事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載) 滞納を未然に防ぐという観点から、何らかの手段で納税催告しなければならない。今回の自動電話催告は、国保税以外の滞納税の納付にもつながっている。 導入当初は、納税者から苦情はあったが、昨年は、現年度の滞納者のみとしたところ苦情件数も少なくなり、自動電話催告を行った日から数日後には納付となっていて、現年度の徴収率もアップした。 今後は、他の税目にも範囲を広げれば、更なる徴収率アップにつながると推測できる。									
(1) 評価結果(今後の方向性) □ 優(成果大) □ 可 □ 不可(成果なし・中止・計画変更必要)									
事	・総評 業導入による効果が確認できた。 続的な実施により、更なる成果を其	事	) 指示事項 「後評価は、今回」						
			再評価対象	<b>尹未</b>					